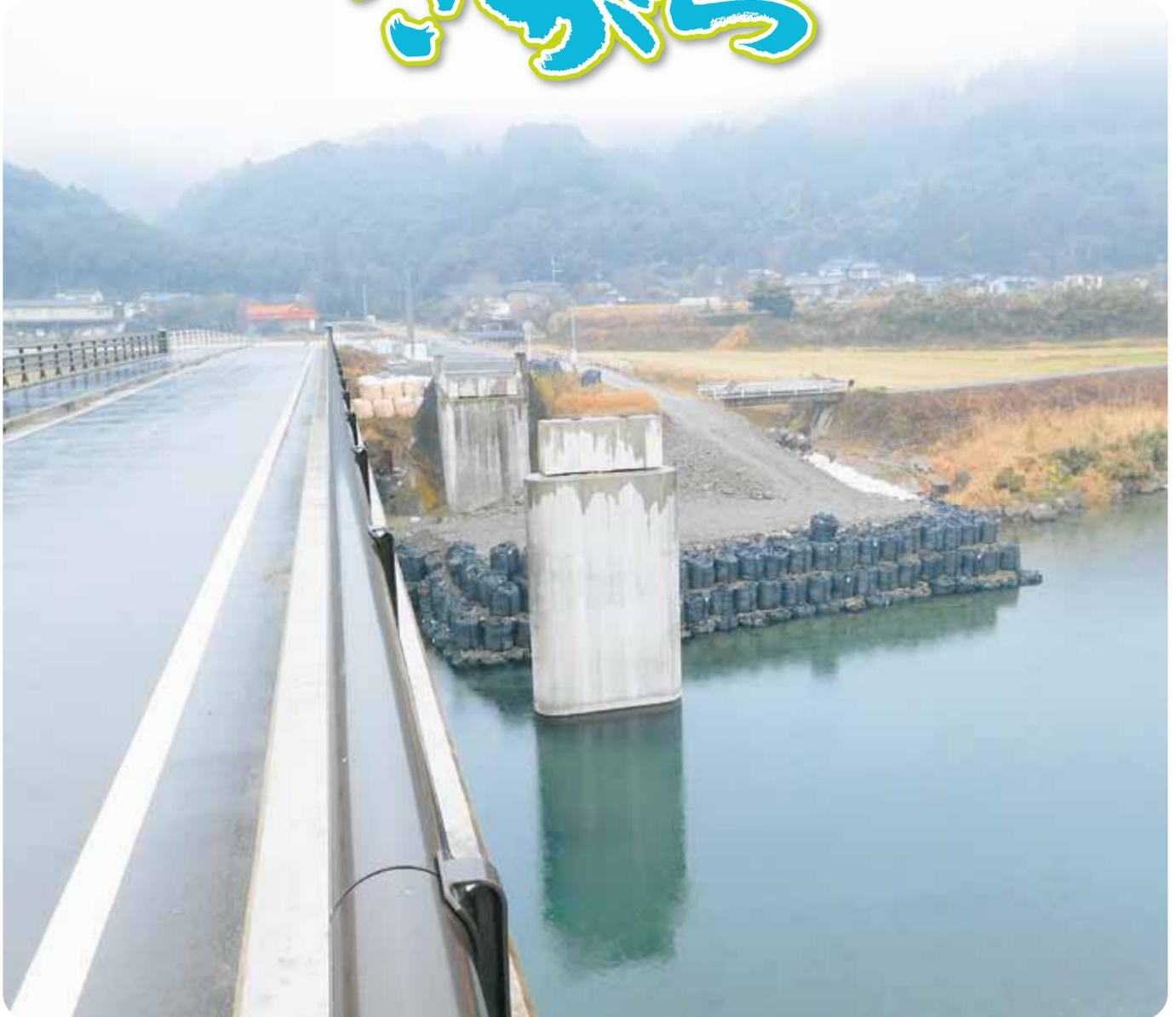


# 議会だより

## おがら

30号  
2017.2.9



撤去間近の旧観音橋 橋脚



12月定例会 12月14日～16日

### 目次

- 議会のうごき…………… 3  
    こんなことが決まりました
- 一般質問…………… 5

相良村世帯数【1,655世帯】(平成29年1月末日現在) 人口……4,645人 男性……2,208人/女性……2,437人

# 躍進する年に!!

新年を迎え謹んで  
お慶びを申し上げます。



相良村議会  
議長 友田 政春

明けましてお目出とうございます。  
皆様には、輝かしい新春をお迎  
えのこととお慶び申し上げます。

昨年十二月定例議会の「議会だ  
より」と共に、大変遅くなりまし  
たが心新に議員一同ご挨拶申し上  
げます。

昨年は相良村合併六十周年を迎え  
ました。第六回目の記念式典が盛大  
に迎えられたこと、私は当時職員で  
ありましたので、胸心に深く思いを  
はせています。

この「相良村」とは多くの村民の  
公募により、「相良藩」から取り命  
名された格式のある「相良村」であ  
り、皆様とともに誇りに思っている

ところで。

さて、全国的な傾向ですが、少子  
高齢化と共に本村は合併時の人口は  
五二%余りの減少率となり、益々減  
少が続くことは変わりありません。

その為、国は一昨年地方創生事業  
として「まち・ひと・しごと」地方  
再生を目的に「総合戦略」を基本に  
事業計画を作成し、地域活性化を計  
ろうかと実施中でございます。これ  
らの事業に当たっては、村議会・生  
産、消費等の関係者と一致団結して  
実施することが重要ではないでしょ  
うか。

村民の皆さんはどこが、どの様に  
変わり活性化に繋がったか感じるこ  
とが出来ましたでしょうか。

相良村は、先人が築き磨いてきた  
多くの伝統文化等の貴重な資源をさ  
らに子孫に継承するため、村民一体  
となり盛り上げる必要があるのでは  
ないか!!

日頃の事業が創生事業であること

## 明けましておめでとうございます



は変わりありませんが、本村はお茶  
生産は面積・量ともに日本有数の産  
地として又優秀な生産者も多く、全  
体的に資質向上、さらに所得増収に  
繋げ、さらに本村の特産品化に努力  
して頂きたいと期待している。

議会としても、他人ごとでは全く  
なく、村民のため、政策の実現には、  
執行部と共に、国・県との信頼関係  
を保ち村政のチェック機関として議  
員、自ら条例等の政策の発議など建  
設的な議論を行い村民の貴重なご  
意見を賜り笑顔で明るい相良村を  
村民一体で建設しようではありませんか。  
最後に村民の皆様のご健勝とご多  
幸を祈念申し上げます。

- |     |        |
|-----|--------|
| 議長  | 友田 政春  |
| 副議長 | 池田 勝吉  |
| 議員  | 茂吉 隆典  |
|     | 小善 満子  |
|     | 高岡 重盛  |
|     | 市岡 智恵  |
|     | 西本 巴喜男 |
|     | 中村 重道  |
|     | 黒木 正照  |

# 平成28年 第7回臨時会報告

平成28年第7回臨時会が、11月11日に招集され、公有財産の取得について、平成28年度一般会計補正予算（第5号）、平成28年度相良村簡易水道特別会計補正予算（第2号）、平成28年度相良村農業集落排水特別会計補正予算（第3号）が提案され、慎重に審議した結果、原案とおり可決しました。

## ○公有財産の取得について・・・原案可決

議案第60号 公有財産の取得について

議案第61号 平成28年度相良村一般会計補正予算（第5号）

歳入歳出それぞれに2,030万円を追加し、総額34億2,637万3千円とする補正で、採決の結果、賛成全員で可決しました。補正の主なものは下記のとおりです。

### 歳入

(単位：千円)

款	補正前の額	補正額	計	説明
繰入金	199,644	20,300	219,944	財政調整基金繰入金
歳入合計	3,406,073	20,300	3,426,373	

### 歳出

(単位：千円)

款	補正前の額	補正額	計	説明
衛生費	261,383	1,300	262,683	簡易水道特別会計繰出金
農林水産業費	549,881	3,800	553,681	広域農道伸縮装置修繕等
諸支出金	1	15,200	15,201	柳瀬石倉周辺土地購入費等
歳出合計	3,406,073	20,300	3,426,373	

※補正のあったものだけを明記しているため、歳入歳出が合計の数字とは一致しません。

## ○特別会計補正予算議案・・・原案可決

議案第62号 平成28年度相良村簡易水道特別会計補正予算（第2号）

議案第63号 平成28年度相良村農業集落排水特別会計補正予算（第3号）

# 平成28年 第8回定例会報告 一般会計補正予算2億962万2千円を追加

平成28年第8回12月定例会が、12月14日から16日までの3日間の会期で開催され、平成28年度一般会計及び特別会計補正予算5件、条例の制定等4件、相良村固定資産評価審査委員の選任同意3件、「地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書」発議1件が提案され、慎重に審議した結果、原案どおり可決及び同意しました。

一般質問には8人が登壇し、村長の考えを質しました。

## ○条例議案・・・原案可決

議案第64号 相良村農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について

議案第65号 相良村報酬、費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第66号 相良村税条例の一部を改正する条例の制定について

議案第67号 相良村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

## 議案第68号 平成28年度相良村一般会計補正予算（第6号）

歳入歳出それぞれに2億962万2千円を追加し、総額36億3,599万5千円とする補正で、採決の結果、賛成全員で可決しました。補正の主なものは下記のとおりです

## 歳 入

(単位：千円)

款	補正前の額	補正額	計	説 明
村 税	320,891	△ 330	320,561	市町村たばこ税等
地方特例交付金	700	138	838	地方特例交付金
地 方 交 付 税	1,620,059	157,262	1,777,321	普通交付税・特別交付税
分担金及び負担金	28,662	3,835	32,497	阿蘇火山等防災特産対策事業等
国庫支出金	295,033	15,299	310,332	臨時福祉給付金事業補助金等
県 支 出 金	266,427	179,706	446,133	林業・木材産業生産性強化等
財 産 収 入	14,074	294	14,368	土地売払い等
寄 附 金	4,222	259	4,481	ふるさと寄附金
繰 入 金	219,944	△ 150,000	69,944	財政調整基金繰入金
諸 収 入	9,648	12,159	21,807	熊本県市町村振興協会災害見舞金等
村 債	382,400	△ 9,000	373,400	林道整備事業債
歳 入 合 計	3,426,373	209,622	3,635,995	

## 歳 出

(単位：千円)

款	補正前の額	補正額	計	説 明
議 会 費	59,191	△ 4,168	55,023	議員報酬等
総 務 費	559,582	10,602	570,184	経済対策臨時福祉給付金等
民 生 費	813,667	△ 4,401	809,266	児童手当等
衛 生 費	262,683	609	263,292	健康教室等
農林水産業費	553,681	212,464	766,145	阿蘇火山等防災特産対策事業等
商 工 費	34,586	51	34,637	瀬戸堤公園水道料
土 木 費	223,722	6,634	230,356	歩道拡幅工事等
消 防 費	201,375	29	201,404	人吉下球磨消防組合負担金
教 育 費	392,636	△ 9,649	382,987	特別支援教育支援員報酬等
公 債 費	304,865	△ 2,549	302,316	利子及び割引料等
歳 出 合 計	3,426,373	209,622	3,635,995	

※補正のあったものだけを明記しているため、歳入歳出合計の数字とは一致しません。

## ○特別会計補正予算議案・・・原案可決

議案第69号 平成28年度相良村国民健康保険特別会計補正予算（第4号）

議案第70号 平成28年度相良村簡易水道特別会計補正予算（第3号）

議案第71号 平成28年度相良村農業集落排水特別会計補正予算（第4号）

議案第72号 平成28年度相良村介護保険特別会計補正予算（第3号）

議案第73号 平成28年度相良村後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）

## ○同 意・・・原案同意

同意第2号 相良村固定資産評価審査委員会委員の選任について（松岡 和雄氏）

同意第3号 相良村固定資産評価審査委員会委員の選任について（坂田 尚禧氏）

同意第4号 相良村固定資産評価審査委員会委員の選任について（池田 一洋氏）

## ○議員発議・・・可決

発議第5号 地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

# 村民の声を村政に！

議会だよりは、文字数が限られているため、質問内容の全てを掲載することが出来ません。  
広報委員会より



小善 満子議員

- 問1 新たな産業として、紙幣の原料になるミツマタ栽培で、高齢者の収入を確保する考えはないか。
- 問2 ミツマタについては、シカ、サル、イノシシの食害は無く、当村にも適して要るのではないかと思われるが、栽培に当たっては、取引先の独立行政法人国立印刷局等の引受先を確保する必要がある。
- 問3 栽培に当たっては、取引先の独立行政法人国立印刷局等の引受先を確保する必要がある。
- 問4 地方創生加速化交付金の4,300万円について、熊日に委託して事業を行う旨説明を受けたが、委託金の事業の内容を説明して欲しい。
- 問5 フランス セントヴァレンタン村との姉妹提携について詳細に説明を求めたい。
- 問6 この事業の内容について住民は理解していない、住民のためになる事業であることについて、詳しく説明して欲しい。
- 問7 役場からの公文書の回覧について、住民に周知徹底しなくてはならない公文書は回覧でいいと思われるか。「有書」の分別と出し方」「コミニケーションの維持管理」等

## 小善議員

徳島県那賀郡那賀町の木沢林業研究会では、ミツマタがシカに食べられないことに着目、山肌を守るとともに、紙幣の原料として出荷、新たな収入源にしようというこ

とで、平成25年3月から植樹をし収入を得る事業を開始しています。製品化された紙幣の原料は30キロ9万円です。ミツマタは30キロ9万円です。独立行政法人国立印刷局が買い取る事になっています。当村に於いても、耕作放棄地等を活用、高齢者の収入を確保する産業の取り組みについて村長の考えは。

## 村長

紙幣の原料になるミツマタの栽培を相良村で高齢者の収入確保に奨励したらいのではないかと

いう、非常に適していると言う事ですが、お気持ちは十分に理解したいと思っておりますが、現在、金融の決済システムが、アナログからデジタル化してきて、若い人は、お金を持ち歩かないと言う状況で、日銀の新券枚数は確実に激減している事

で、相良村においてミツマタの栽培を確保するという考えは私の方ではありません。他の手段で高齢者の収入の確保について、皆様方の知恵を頂きながらやっていきたいと考えています。

## 小善議員

この件については、2月の定例議会のミツマタについての質問に対して、村長はどのように答えています。「7番議員の議場での提案でございますので、議会と執行部

で、力を併せて情報を収集して、農家の方の地域に少しでもお勧めできる生産品目であるならば取り組みたい」との答弁でした。現在、日本は高齢化社会です。高齢者の方は金を持ち歩いています。全ての若者が金を持ち歩かないとは限りません。日銀の国立印刷局の新券の発注枚数が17年度は1万円が26億枚、27年度は10億枚程度になり激減しているとの村長の答弁を信用し、この件は終わりです。

## 小善議員

地方創生交付金4,300万、熊日に委託して事業を行う旨、議会全員協議会で説明を受けたが、委託金の事業の内容を説明して

ほしい。

## 総務課長

株式会社熊本日新聞社への委託料は国の交付金4,300万円、一般財源344万円、合計4,644万円の事業となります。事業内容については別表(13ページ)のとおりになります。

## 小善議員

事業の内容については別表(13ページ)に掲載されたとおりだと思いますが、熊日さんの動画作成、放映による相良村のPRと、ヴァレンタイン祭りに力をいれているような感じがいたします。全ての村民の人に役に立つ事業をしてほしかったと思いますが、村長が決めた事業ですから成功する事を願って質問を終わります。



紙幣の原料ミツマタ



池田 勝吉議員

**Q** 要望、意見書提出の際、優先順位は、どのように検討されているのか。

**A** 危険個所の優先順位は付けておりません。

○その他雨宮神社にかかる風致保安林についての質問を致しました。

**池田議員** 相良村通学路交通安全推

進会議について、夏休みに入ってから、9月の定例議会でも申し上げ、定例議会で議決した国道445号の道路改良を求める意見書を、球磨地域振興局の土木部、熊本県土木部へも提出してまいりました。その折、今回人身事故が起きた個所を優先的に改

良してほしいと意見を申し上げましたが、球磨地域振興局土木部、熊本

県土木部の方が言われたことは、交通安全対策の中で、要望対策箇所を1番にあげてほしいということでした。

1点目として、通学路交通安全推進会議にはどういうメンバーで構成されているのか。

**教育長** 教育委員会、南北小学校長、

人吉警察署、PTA代表、相良村役場建設課、球磨地域振興局土木部維持管理課施設係、中学校が入ってなかったんで、中学校の方もメンバーとして入ってもらうということになっています。

**池田議員** 点検はどのくらいの頻度

で実施されているのか。  
**教育長** 各小中学校で学期に1回はやっていると思います。梅雨の時期前には、特に点検をしていると思います。平成26年3月に設置されました通学路交通安全推進会議についてはその後、実施してませんが、各学

校で定期的にはやっているというところでです。

**池田議員** 合同での実施がなされていないということですので、これは合同でした方が効果があると思います。

危険箇所等を発見した場合、どのタイミングで改善、対策等の要望をされているのか。

**建設課長** 危険であると

認知した場合は、その都度、国、県に要望が必要で、今年の場合は直接、3度ほど、県の方に要望しております。

**池田議員** 要望、意見書

提出の際、優先順位はどのように検討されているのか。

**建設課長** 通学路交通安

全推進会議では年に一回危険箇所等を確認し5月に県の方に報告すること

にしておりますけれども、危険個所の優先順位は付けておりません。

**池田議員** 平成29年度は優先的に交通安全で一番にあげてほしいと思います。



国道445号(雨宮地区)



中村 重道議員

**Q** 高原地区の農道新設について  
どう理解されているか

**A** 農家の収益等につながる重要  
課題として取り組んでいく部  
分と考えている。

農道新設について

**中村議員** 川辺高原の上川上地区か

ら上園地区の上まで、15年前にふるさと農道が完成し農家の方から大変喜ばれてますが、この事業の内容をお尋ねしたいと思います。

**産業振興課長** ふるさと農道の事

業として平成15年度から平成18年度の4カ年事業として本村の100%単独事業として過疎債等を活用しまして実施しておる事業で

す。事業名は高原地区ふるさと農道緊急整備事業です。総事業費は1億1002万4千円です。施工延長は3,353m、幅員は45mです。村の単独事業でふるさと農道が通り

な施策の一つとして重要課題として取り組んでいく部分だと考えております。地元の営農組合等における役員会の中でも今後必要とする農道の設置箇所の検討もされているところです。川辺川利水事業の受益地ということで計画変更等の同意取得の法的な手続が完了しないと国、県との補助事業の活用ができない地域となっております。

手農家の収益が少しでも上がるお手伝いをしてもらうようお願いしたいと思っています。

**中村議員** 畑を買収されて約数町の茶畑を造成されました。ふるさと

農道が通ったおかげでいろんな農業振興に寄与していると思います。新規の農道整備の件を何度も一般質問

しております。高原地区の集積の契

約面積も関係者、職員の努力があったと報

道されております。集積補助金も出

ており受け手農家の収益が少しでも

向上するような環境づくりをする事が行政として大事な事だと思いが、産業振興課長はどのように理解

されているのか伺います。

**産業振興課長** 3番議員が言われた

とおり農家の収益等につながるよう

**中村議員** 15年前約

4年間での村の単独

事業でふるさと農道

整備が出来た時にも

川辺川利水事業の網

はかぶっておったの

です。何か良い考え

を持って県と折衝を

してもらって1年2

年でも早く農道整備

を行い、集積の受け



高原上川下地区ふるさと農道



市岡 智恵議員

**Q** 深水観音駐車場について

**A** 協議が済み次第、すぐ着工に入りたい

**市岡議員** 平成26年3月に深水観音駐車場について質問しているが、松葉、中央地区から要望が提出され、現在どのような状況にあるのか。

**産業振興課長** 所有者2名の同意も得られ、再度、両区長名での要望書が提出されている。現在の状況について、2名の所有者との使用貸借の契約及び駐車場予定地となっている所が、進入個所が県道小枝深水線となっているので、県との協議用の詳細設計を作成中。年内、県との協議に向け準備を進めているが、その協議が済み次第すぐ着工に入りたいと

考えている。

**市岡議員** 工事の内容について。

**産業振興課長** 工事の概要だが、延長がおおよそ20mほど。その県道に設置してある側溝から、どの部分からも乗り入れができるようなかたちで、約1100平方メートル程度の面積になるかと思うが、傾斜の部分とかも考慮しながら、今後進めていきたいと考えている。

**市岡議員** 小枝深水線観音下の側溝はどのようなになっているのか。

**建設課長** 当該路線については、側溝及び朝迫の方に抜ける路線とかの方にも、かけ切りとかで県の方に従来、要望している。今回の側溝についても、引き続き、側溝の詰まり、流れの解消等を要望していきたい。

**Q** 産業文化祭について

**A** 来年度以降も開催する

**市岡議員** 記念すべき第1回さながら産業文化祭が開催され、村内外からも多くの方が訪れ、賑わった。そこ

で、反省、問題等はなかったのか。

**産業振興課長** 12月7日に第5回の産業文化祭の実行委員会を開催している。その中で、事前に反省点等、取りまとめ、次回開催に向けての改善等を協議したところ。主な反省点の内容だが、出店班の方からは電圧を上げてもらいたい、会場の見直しも検討してもらいたい、雨で準備のテントからステージまで行くにあたって、足場が悪い、そういった内容の反省点等が上がっている。

**Q** 介護保険制度について

**A** 国の方から基本方針が示される予定

**市岡議員** 平成27年度介護保険改正で、在宅料、介護連携、認知症、施策の推進、生活支援、介護予防サービスの充実を、平成29年までに全市町村で実施されるようだが、現時点での事業内容を。

**保健福祉課長** 本年度の4月より、介護予防、日常生活支援総合事業を

開始している。その内容は、介護予防、生活支援サービス事業として、訪問介護、通所介護及び週3回、林業センター等で実施している通所型サービスシート、地域包括支援センターの方で行っている介護予防ケアマネジメントがある。また、一般介護予防事業として、通所型介護予防教室のげんきクラブ、各地区のサロンで行っている巡回型介護予防検診、そして、介護予防サポーター養成講座等を実施している。

**市岡議員** 村民の方が、安心安全な生活ができるよう、住民主体の多様なサービス、支援のための環境整備を推進していただきたい。





茂吉 隆典議員

**Q** 上園地区の林地開発・排水対策は

**A** 補修追加で完了していないので協定出来ていない

**茂吉議員** 上園地区林地開発について排水対策12月までに工事をやると回答があったが如何なっているか。

**産業振興課長** 変更期日は12月31日までと言う事で進捗状況の報告を催促して11月の報告書の中で、11月に河川協議完了予定12月8日県に確認県から許可が無い、許可決定後速やかに村の建設課と配管埋設したい最終協議・施工承認・関係認可種類等の提出、後排水工事、補修追加工事施工する。

**茂吉議員** 最後まで見届けたいの

で、今後完了したら教えて頂きたい、協定書も未定ですか。

**産業振興課長** 県の竣工確認検査含め完了時点で協定書締結に努力したい。

**茂吉議員** 最後の報告を受けたい道路問題 村長出来るだけ早く、速やかにやりたいと、回答はあったが、手が付けられていないと、9月私の質問で建設課長は土質の調査とかの答弁、その件について

**建設課長** CBR試験土質試験です。道路路盤の状態等を単独路線の調査で、道路正常化調査を村道・村内全域で実施結果に基づいて工事の工法が決定、今回その結果を待つて取り組みを検討したい。

**茂吉議員** 三石錦線で、調査がどうなっているか、その後どうなるのか。

**建設課長** 三石錦線単独の調査は実施していない。

**茂吉議員** 9月答弁では道路の路面の土質の調査をやっていると回答があった今やっていないこの食い違いどうなっているのか。

**建設課長** 9月は調査を過去にやったとの答弁CBR

試験土質調査を行った後でしたのでの報告です。

**茂吉議員** 調査はどんな調査か、結果はどうだったのか。

**建設課長** 土壌の強度と道路に適しているかの調査を部分的な調査で特に道路の使用に問題はないとの調査結果を受けた。

**茂吉議員** 側溝の(三方)開き解消出来ないか、通じなかつたかな、陥没地点の箇所は危険箇所と思われるら早急にやると回答だったが、やったのか、やらなかつたのか、なかつたら後どうなるのか。

**建設課長** 本村で速やかに補修実施している。



三石錦線の新並木T字路



上園地区の林地開発地



西本巳喜男議員

**Q** 村道平原十島線について

**A** スピード感を持って事業に取り組んでいく

**西本議員** 村道平原十島線について、今までのようなかたちで来たか、その進捗状況について、答えてください。

**建設課長** 現在は平原側の歩道拡張工事を年次計画で実施している所です。十島側に関しましては、28年度内に、当該会社のほうに向いて用地交渉の開始を行う予定です。

**西本議員** 平成30年度で一億円の概算事業計画がされております。29年度においては、どのような計画を考えておられますか。

**建設課長** 起点。平原区側の歩道拡張

工事を全て、予定している箇所全て完了し、並行して用地交渉を進めながら、終点側の十島地区側の拡幅工事が進められて行くよう、取り組んで行く予定です。

**西本議員** 村長にお尋ねします。今後はどのように取り組んで行かれますか。

**村長** この十島のゴルフ場側ですね、あと、くま川鉄道にも近接しておる関係ですね、非常にやりづらさもあります。これは高度な交渉が必要であります。平原側におきましては、歩道工事をやっておりますが、根本的な車道ではありません。最終的には、平原山江線に、その平原十島線は凍結させないと。29年度は目に見える形で事業が出来ればと、スピード感を持って事業に取り組みます。

**Q** 88歳の米寿祝金について

**A** 一律平等に支給できるように議案を提出していきたい

**西本議員** 88歳の米寿祝金について、

本年度の米寿対象者は、その内、祝金対象者は何名か、祝金はいつ送ったのか。

**保健福祉課長** 米寿対象者は37名、その内支給者が25名です。祝金の支給

につきましては、条例の方で介護サービスの給付の確認を取っております。現在、事務手続中ということでまだ支給できておりません。

**西本議員** 村長、こういう状況下にありますか、どのようにお考えですか。

**村長** 同じ敬老祝金の中で100歳の祝金が一律ということ、一律平等に支給するということ等を考えれば、

現在のこの米寿祝金は、率直に申し上げて、欠陥制度です。村民の間でも、これはもう欠陥という、おかしいということがもう広く認知されています。しかるべき時期に一律平等に支給できるように議案を提出して行きたい。



平原十島線補道新設



黒木 正照議員

緊急通報の取り組みについて

**Q** 押ボタンや火災報知器を利用し、自動的に消防署へ通報できるシステムの取り組み検討は。

**A** 検討はしていきたいと思うが、決してやるという事ではない。

**黒木議員** 現在、日本国内においては、独居高齢者の方、高齢者のみ世帯が増加の一途を辿っている。人は皆一様に歳を重ね、誰もが豊かな老後を願っている。高齢者の安否確認を強化すべきとの思いで質問する。世帯数及び安否確認の現状について。

**保健福祉課長** 平成28年12月1日現在での住民基本台帳に把握している数となるが、独居世帯は246世帯、高齢者のみ世帯は237世帯。安

否確認の現状だが、介護サービスの利用がなく、支援が必要な65歳以上の一人暮らしの高齢者や、高齢者のみ世帯については、ふれあい訪問事業等での訪問活動が中心となっている。

**黒木議員** 一番良い方法は、毎日電話をかけて安否の確認をしていたのだが、一番確実な安否確認と思っている。

**黒木議員** 独居高齢者、高齢者のみ世帯について、急病などの緊急時に、ボタンひとつで消防署に通報でき、なおかつ隣近所に異常音で知らせる仕組み、また火災報知器を利用して、自動的に消防署へ通報できるシステムの取り組みも大事だと思う。

**村長** 機器の導入となれば、別の次元での協議が必要なので、そこそこは検討していきたいと思ってる。決してやるという事ではないので、やるという答弁を頂いたというふうには解釈なさらないでいただきたい。

災害時の避難発令について

**Q** 移動手段を持たない方・体の不自由な方・高齢者（災害時要援護者）の避難の確認は。

**A** 親戚等に避難される方の把握は出来ていない。避難についての体制は今のところない。

**黒木議員** 避難命令は地域の危険箇所を見越したものであると思ってるが、指定されている危険個所の現地調査、点検は毎年行われているのか。

**総務課長** 毎年6月の上旬に相良村防災会議が開催されるが、その前に消防団長、副団長、消防担当者が村内の危険個所を巡視しており、毎年行っている。

**黒木議員** 避難勧告について、住民の方の避難の確認はどのようにされているのか。特に支援が必要な災害時要援護者の確認について。

**総務課長** 避難所に来られた方は把握できるが、親戚などに避難される方の把握は出来ていない。身体が不自由な方等の避難についての体制は今のところ村としてはない。

カスミザクラについて

**Q** 平成28年6月答弁の取り組みは。取り組みはまだしていない。

**黒木議員** 昨年6月の保全対策についての質問で、「専門家のアドバイザーの下に環境整備をする。地域の意見を聞きながら環境改善を考えていく」との答弁でしたが、その後どのような対策を取られたか。

**村長** 特段的な観光への取り組みはまだしていない。

**黒木議員** 今後どのような取り組みが必要か。

**産業振興課長** 地元で保存会の設立を提案している。地域づくり交付金の活用、カスミザクラ自体を村の有形文化財に指定する方法とか、取り組むべき方法を検討しながら、協力していく部分はしていかなければならないと考えている。

他に、消防庁から点検の要請がなされている地域防災計画についても質問した。



高岡 重盛議員

**Q** 農林家の活性化は

**A** 村民、議員と共にやっていくよ

**2** 路線の道路改修について

**高岡議員** 村道永江瀬馳線、農道松馬場下川辺線において、凹凸の個所が多く見られるが状況を把握されているのか。

**建設課長** 村道永江瀬馳線は、高尾橋より下流側部分、農道松馬場下川辺線では川辺川園の裏側及び構造改善センターの周り付近に凹凸が見受けられると承知している。

**高岡議員** 雨水等が多く溜まっている状況であるので改修が必要だと思う。農道松馬場下川辺線は、子ども達の通学路であると思う。事故発生を未然に防ぐ為にも2路線は早急な

対応が求められるのではないかと。

**村長** 危険箇所については、情報の提供を頂ければ可能な限り早急に対応をして行きたいと考えている。

**道路幅確認の白線について**

**高岡議員** 道路幅確認の白線について、村及び村議会議長宛に区長会より要望がなされていると思うが、その後の対応はどうなっているのか。

**建設課長** 平成27年度は、永江瀬馳線745m、広域農道で延べ2,468m設置している。平成28年度につきましては、村道8,800m、広域農道2,900mの設置を予定している。

**高岡議員** 夜間や雨降り時には、道路幅確認が難しく、カーブの場合には特に分かりにくいので安全走行をしてもらう為にも早急に白線を設置することは出来ないか。

**村長** 白線は早急に対応していきたいと考えている。また、車道幅については、改良、幅を広げる対策も考えている。

**農業振興について**

**高岡議員** 異常気象による農産物の減少、価格の低迷により農業経営が非常に厳しい状況にあるが、村として農業振興に対する考えはあるのか。

**産業振興課長** 品質向上、コスト削減はもとより収益増に繋がるよう新規就農者及び担い手確保に向けた支援、補助事業等に対する村独自の農業振興補助金交付要綱の制定に努めて来たが、依然として高齢化等による担い手不足に歯止めが効かない状況である。今後、新規就農者及び担い手育成に向けた画期的な制度改革が必要と考えている。

**高岡議員** 農家として一番残念な事は、利水事業の休止であると思う。今後、農業振興を図るために高原台地に「水の手当」を行う考えはないか。

**村長** 無念な事であるが、利水事業が頓挫してしまい、計画変更に進んでいる。農家の3分2の同意が得られることが農業振興のスタートと考えている。

**高岡議員** 農家の負担軽減策として

国、県の補助はあるが、村独自の補助金と機械購入、貸出は考えられないか。

**村長** コスト削減や機械代の補助金等についてもしなければならぬと考えている。遠慮なく農家の方にとってくださいと話している。

**高岡議員** 農林家の活力を見出だすためにも村長の考えを聞きたい。  
**村長** 本音の議論を議員の皆さん、村民の皆さんとやっていくことが村の活性化、農業の活性化になると考えます。



なつめ保育園横の村道白線

# 地方創生加速化交付金 委託内容及び事業費 内訳

委託先：株式会社熊本日日新聞社 委託料：46,388,418円

7番小善議員 一般質問による資料提供 (単位：千円)

事業内容	事業費	備 考
1. 特産品ブランド化事業	16,310,418	
○商品開発セミナー	2,808,000	7月～10月実施
○開発商品の熊本の宝物グランプリへの出場、商品化に向けた支援	2,484,000	開発した商品：6品目
○KKT夢まちランドへの出店、びぶれず広場でのPR活動、相良村ヴァレンタイン祭りの会場設営、ツアー企画等	6,750,000	KKT夢まちランド： 平成28年10月29日、30日開催 相良村ヴァレンタイン祭り： 平成29年2月12日開催
○移住定住PR用パンフレット、ポスター、インターネット広告等の制作	3,348,000	
○セントヴァレンタイン村村長の国内移動、歓迎レセプション、通訳	920,418	平成28年9月27日、28日来村
2. 田舎暮らし魅力発信事業	15,390,000	
○移住定住PR用動画、イメージソング制作	8,424,000	動画：3分、5分、10分
○インターネット情報サービスを活用した情報発信	3,780,000	新聞、テレビ、YouTube、ツイッター等
○県立大学生による村の地域資源調査、事業者調査	3,186,000	
3. 地方創生人材育成事業	8,208,000	
○ヴァレンタイン祭りに向けた企画会議の開催	1,404,000	参画：村民、事業者、高校、大学
○相良ブランドデザイン会議の開催	1,674,000	協議内容：相良ブランドの構築、柳瀬の石倉と周辺の利活用
○地方創生人材育成講座（外部講師による講演会）	1,425,600	平成28年11月14日開催 講師：木村俊昭氏
○地方創生インターンシップ事業	3,704,400	首都圏の大学生が村内で生活し、地域づくり、産業、村の暮らしなどを実践して技術を学ぶ
4. セントヴァレンタイン村との交流事業	6,480,000	
○ヴァレンタイン村公認の結婚証明書や訪問記念証等の制作	1,080,000	
○セントヴァレンタイン村レストラン監修のフランス料理の新メニュー開発、東京のメリーズカフェによる新メニューの開発	1,080,000	メリーズカフェ：ヴァレンタイン村レストランとメリーチョコレートが運営
○村内観光スポットの案内板設置、商品開発等	2,862,000	
○ヴァレンタイン祭りポスター・パンフレットに村内の情報の掲載、海外メディアや独自のインターネットサービス等でのPR、ヴァレンタイン祭りに向けた支援や協力	1,458,000	
合 計	46,388,418	

# 議員研修報告

## 国道445号の道路改良を求める意見書提出及び先例地研修

期 日：平成28年11月15日（火）～17日（木）  
場 所：衆議院、参議院議員会館  
長野県麻績村議会、小布施町

地元選出の衆議院議員、参議院議員に意見書を提出。直接、ご本人とお会いし、要望内容を説明した。

長野県麻績村は、人口が約2,800人。議会の議員定数は8名。議会活性化に向けた取り組みを長年続けられている。子ども議会や休日議会の開催。議会における災害発生時の対応要綱を制定し、大規模災害発生時の議員行動マニュアルが作られている。若手議員の担い手不足など共通の改善課題もあり、他県の議員との貴重な意見交換を行った。

長野県小布施町は修景事業、オープンガーデン等のまちづくり政策等で全国で有名。オープンガーデンは住民のボランティアで行われており、住民の地域づくりへ参加する意識の高さに感銘した。移住定住政策では、子育て世代などの若い方々の転入促進・転出抑制のため、宅地開発を官民一体で実施されてきた。

以上のとおり、報告します。

平成28年11月

相良村議会



松村祥史経済産業副大臣に提出



麻績村議会での研修

発行責任者

友田 政春  
中村 重道  
高岡 重盛  
池田 勝吉  
茂吉 隆典  
市岡 智恵

【議会広報編集委員会】  
委員長 市岡 智恵  
副委員長 池田 勝吉  
委員 茂吉 隆典  
友田 政春



広報委員 一同

今年初めての発行となります。みなさんも新しい年をお迎えるのことに思います。これまで議会議員として、議会活動の報告として、今回も議会活動報告が出来たことを、大変ありがたいことと感謝します。現広報委員最後の作業となりました。次回新しい広報委員での発刊となります。

編集後記